

鶴翔高前田校長来庁

生徒が育てたシクラメンを贈呈

12月13日、県立鶴翔高校（阿久根市）の前田良文校長が川添町長を訪問しました。

同校には現在、本町から45人の生徒が在学。前田校長はシクラメンを川添町長に贈呈し「生徒たちが1年かけて、一生懸命栽培したもの。花で、すがすがしい気持ちを持っていただけたら」と話しました。

同校は10月に本県で開催された「第69回日本農業クラブ全国大会」への参加や県内の農業女子と連携し、最新の機械で水稻栽培に取り組む「農業女子応援プロジェクト」など専門性の高い学習活動のほか、陸上競技部やバレーボール部などの部活動でも活躍しています。



↑鮮やかなシクラメンを贈呈する前田校長（写真左）

鹿児島出水ボーイズ県支部大会優勝

ダブルで全国大会出場へ

12月7日、出水市の少年野球チーム「鹿児島出水ボーイズ（城須智也監督）」の本町出身の選手たちが川添町長を訪れました。

同チームは小学部に2人、中学部に4人、本町の選手が在籍。11月に開催された鹿児島県支部大会では小学部・中学部共に優勝を飾り、3月26日から埼玉県大宮市で開催される全国大会に出場します。

川添町長は「町のスポーツ振興のためにも頑張ってもらいたい」と激励し、中学部キャプテンの濱島航生選手（薄井）は「入団して最高の指導者と仲間に出会えた。全国大会では1勝でも多く勝ちたい」と決意を述べました。



↑全国大会へ意気込む本町の選手たち

公共ホール音楽活性化事業

音楽で町を盛り上げる

12月12日から15日にかけて公共ホール音楽活性化事業が行われました。

この事業は新進演奏家を公共ホールに派遣し、研修機会を提供することで、地域文化の活性化を図ることを目的としています。今回は関西を中心に活動している「グリュックサクソフォンカルテット」を招き、町文化ホールと町内6小・中学校でコンサートや演奏体験会が開催されました。

15日に町文化ホールで開催されたコンサートには町内外から約300人が鑑賞に訪れ、サクソフォンの華麗な演奏に聴き惚れました。



↑観客を魅了したサクソ演奏